



2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦 TEL 03-3597-7215

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	123,363	6.2	10,762	33.1	12,142	25.5	10,506	28.5
2023年12月期第3四半期	116,149	2.2	8,088	32.9	9,672	29.8	8,175	20.6

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 11,064百万円 (20.8%) 2023年12月期第3四半期 13,971百万円 (16.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	92.15	
2023年12月期第3四半期	68.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	269,093	210,470	77.8
2023年12月期	272,285	212,518	77.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 209,428百万円 2023年12月期 211,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		20.00		33.00	53.00
2024年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	6.7	15,500	24.0	17,500	20.7	12,800	5.1	112.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) Toagosei Vietnam Co., Ltd. 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	117,100,000 株	2023年12月期	117,100,000 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	4,384,665 株	2023年12月期	636,005 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	114,015,165 株	2023年12月期3Q	119,075,015 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年9月30日まで）の経済動向は、米国の景気は堅調に推移したものの、欧州では景気減速が懸念されるようになりました。また、中国では不動産価格の下落や個人消費の伸び悩みなどの影響もあり景気は低迷が続いています。

わが国では、インバウンド需要や賃金の上昇などに支えられ、景気は比較的堅調に推移しましたが、消費者物価は引続き上昇しており、注視が必要な状況です。

このような環境下、当社グループは、研究所や海外拠点の設立および製造設備増強などの成長投資を進めながら、拡販に努めてまいりました。その結果、売上高は1,233億6千3百万円（前年同期比6.2%増収）、営業利益は107億6千2百万円（前年同期比33.1%増益）、経常利益は121億4千2百万円（前年同期比25.5%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億6百万円（前年同期比28.5%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、全般的に販売数量が増加し、増収となりました。アクリルモノマーは、販売数量の増加や原料価格上昇に応じた販売価格改定により、増収となりました。工業用ガスは、堅調な需要により販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は580億9千2百万円（前年同期比9.4%増収）となりました。

営業利益は、電解製品をはじめとした販売数量の増加により、61億7千3百万円（前年同期比50.2%増益）となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車部品向けの販売数量が増加し、増収となりました。アクリルオリゴマーは、ディスプレイ関係向け出荷が堅調で販売数量が増加し、増収となりました。高分子凝集剤は、海外向けの販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は260億3千1百万円（前年同期比4.2%増収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーやアクリルオリゴマーの販売数量が増加したことなどにより、31億8千9百万円（前年同期比40.0%増益）となりました。

③ 接着材料事業

家庭用は、日本および米国での販売数量が増加し、増収となりました。機能性接着剤は、車載用電池向けやスマートフォン用電子部品向けの販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は100億2千8百万円（前年同期比13.1%増収）となりました。

営業利益は、販売数量が増加し、3億7千3百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

④ 高機能材料事業

高純度無機化学品は、メモリ向けの出荷が堅調で販売数量が増加し、増収となりました。無機機能材料は、電子部品向けイオン捕捉剤の販売数量が増加し、増収となりました。新製品開発関連は、メディカルケア製品の試験用サンプルの販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は76億4千1百万円（前年同期比0.7%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の減価償却費の増加やメディカルケア製品の試験用サンプルの販売数量の減少により、9億4千3百万円（前年同期比22.4%減益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、住宅着工戸数低迷により販売数量が減少し、減収となりました。ライフサポート製品は、一般的に販売数量が減少し、減収となりました。エラストマーコンパウンドは、自動車部品や家電部品向けの販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は201億1千1百万円（前年同期比0.3%減収）となりました。

営業利益は、ライフサポート製品の販売数量の減少および原材料費上昇の影響がありましたが、エラストマーコンパウンドの販売数量が増加したこともあり、10億3千9百万円（前年同期比2.9%増益）となりました。

⑥その他の事業

商社事業、輸送事業、新規製品の研究開発事業などにより構成されている当セグメントは、商社事業が増収となり、売上高は14億5千7百万円（前年同期比2.5%増収）となりました。

営業損益は、川崎フロンティアエンスR&Dセンター開設費用もあり、9億6千5百万円の損失（前年同期は5億4千7百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、「建物及び構築物」が増加したものの、「現金及び預金」などの流動資産が減少したため、前連結会計年度末に比べ31億9千2百万円、1.2%減少し、2,690億9千3百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」が減少したため、前連結会計年度末に比べ11億4千5百万円、1.9%減少し、586億2千2百万円となりました。

純資産合計は、「利益剰余金」が増加したものの、自己株式の取得により「自己株式」が増加したため、前連結会計年度末に比べ20億4千7百万円、1.0%減少し、2,104億7千万円となり、自己資本比率は77.8%となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は43億3百万円であります。

また、当社は、関東地区での新規研究拠点として、「川崎フロンティアエンスR&Dセンター」（川崎市川崎区 殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント内）を8月20日に設立しました。新研究所では、名古屋クリエイシオR&Dセンターとともに当社研究開発の中心拠点の一つとして、次世代材料の研究開発を行うほか、首都圏顧客との協創により高付加価値事業の拡大を図ります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間は、電解製品や車載用電池向け製品などの販売数量が増加いたしました。しかし、第4四半期以降の経済動向は、米国大統領選挙などの政治情勢や各地での紛争なども含め、先行きは不透明です。

このような環境のもと、将来の業績を高い精度で算定することは困難なことから、現在発生している様々な出来事がこれ以上大きくならないとの前提に立ち、7月31日に発表いたしました2024年通期の連結業績予想は据え置くことといたします。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,108	22,461
受取手形及び売掛金	51,102	50,494
有価証券	17,000	13,000
棚卸資産	24,792	24,663
その他	2,904	5,129
貸倒引当金	△47	△49
流動資産合計	134,860	115,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,998	39,757
機械装置及び運搬具（純額）	25,451	23,957
土地	29,249	30,295
その他（純額）	14,834	17,738
有形固定資産合計	96,532	111,747
無形固定資産		
無形固定資産	1,579	1,680
投資その他の資産		
投資有価証券	32,912	33,488
退職給付に係る資産	3,736	3,720
その他	2,671	2,761
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	39,313	39,964
固定資産合計	137,425	153,392
資産合計	272,285	269,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,091	16,901
短期借入金	2,499	6,217
未払法人税等	2,281	1,899
賞与引当金	14	762
製品回収引当金	308	158
その他	17,284	17,726
流動負債合計	41,480	43,667
固定負債		
長期借入金	8,595	4,912
退職給付に係る負債	119	126
株式給付引当金	145	251
その他	9,426	9,663
固定負債合計	18,287	14,955
負債合計	59,767	58,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	14,166	14,169
利益剰余金	159,562	162,797
自己株式	△786	△6,590
株主資本合計	193,828	191,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,319	13,679
為替換算調整勘定	3,992	4,142
退職給付に係る調整累計額	369	343
その他の包括利益累計額合計	17,681	18,165
非支配株主持分	1,008	1,042
純資産合計	212,518	210,470
負債純資産合計	272,285	269,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	116,149	123,363
売上原価	86,579	89,311
売上総利益	29,569	34,052
販売費及び一般管理費	21,481	23,289
営業利益	8,088	10,762
営業外収益		
受取利息	182	279
受取配当金	718	934
持分法による投資利益	151	138
為替差益	399	256
固定資産賃貸料	136	76
その他	281	91
営業外収益合計	1,869	1,776
営業外費用		
支払利息	96	111
環境整備費	63	146
投資事業組合運用損	53	101
遊休設備費	9	8
その他	61	28
営業外費用合計	285	396
経常利益	9,672	12,142
特別利益		
固定資産売却益	—	8
投資有価証券売却益	1,998	3,360
補助金収入	84	71
特別利益合計	2,082	3,441
特別損失		
固定資産処分損	168	971
災害による損失	—	※1 75
投資有価証券評価損	3	—
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	175	1,047
税金等調整前四半期純利益	11,580	14,536
法人税等	3,353	3,948
四半期純利益	8,227	10,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,175	10,506

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	8,227	10,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,644	362
為替換算調整勘定	1,101	140
退職給付に係る調整額	△2	△25
その他の包括利益合計	5,744	476
四半期包括利益	13,971	11,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,891	10,991
非支配株主に係る四半期包括利益	79	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月13日および2024年7月31日開催の取締役会決議に基づく自己株式3,823,400株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が5,804百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,590百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

2024年1月に発生した能登半島地震による損失額であり、内訳は次のとおりであります。

原状回復費用等	72百万円
棚卸資産の滅失損失	2
計	75

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	7,421百万円	7,716百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	53,107	24,987	8,863	7,591	20,177	114,727	1,421	116,149	—	116,149
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,813	1,185	126	199	492	4,816	1,156	5,973	△5,973	—
計	55,920	26,173	8,989	7,790	20,669	119,543	2,578	122,122	△5,973	116,149
セグメント利益 または損失 (△)	4,110	2,278	△0	1,216	1,010	8,614	△547	8,067	20	8,088

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	58,092	26,031	10,028	7,641	20,111	121,905	1,457	123,363	—	123,363
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,457	1,171	37	259	655	4,580	1,209	5,790	△5,790	—
計	60,550	27,202	10,065	7,901	20,767	126,486	2,667	129,154	△5,790	123,363
セグメント利益 または損失 (△)	6,173	3,189	373	943	1,039	11,719	△965	10,754	7	10,762

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。